

令和元年度 第1回四国中央市水道事業経営審議会要旨

日 時 令和元年10月28日(月) 13時30分～15時20分
場 所 水道局村松庁舎3階大会議室
出席委員 石川茂、宇田賢司、篠原一美、鈴木義彦、武岡宏明、蝶野幸恵、森實清美
事務局 星川 隆、田辺敏文、寺尾大典、庄司玉男、石川貴仁、石川照人、鈴木敏弘
棚橋英和、石村佳史、大尾裕美
その他 (株)日水コン 竹田、由井
傍聴者 0名

1. 開会あいさつ(宇田賢司会長)

2. 水道局長挨拶

3. 議事1 報告事項

令和元年度予算及び事業計画について

○事務局より説明

○質疑

・委員

ここ数年の料金収入の増減・水道使用量等の今後の見通しは？

・事務局

三島・川之江給水区の料金収入で一番多い収入の年が、平成10年度20億7,600万円(税抜)、現在、平成30年度16億1,300万円(税抜)。この20年間で約4億円減少。給水人口に比例する形で減少し、今後も水道料金の値上げ等がない限り、年に1～1.5%減っていく見込み。

・委員

水道使用量減少は、ペットボトルなどの飲料水購入で水道水を直接飲まない人が増えたことが影響？

・事務局

一人当たり1日の飲料量が約1～2ℓと推測すると大きな影響はない。水道使用量等の今後の見通しは、少子高齢化・人口減少、節水型器具の普及等の影響もあり使用量が落込んでいく。

議事2 報告事項

中田井浄水場等更新整備・運営事業の進捗について

○事務局より説明

○質疑

・委員

中田井浄水場等更新整備して耐震率は何%に？

・事務局

浄水場としては、耐震率100%。

・委員

設備を更新等するとそれに比例して水道料金も高くなるのでは？

・事務局

現在アセットマネジメント計画で施設の更新、財政面も含め計画を見直している。料金については、次回のビジョンの中で明確な方向性を出したいと考えている。

・委員

水道料金を上げてほしくないと思う。だが、昨年の災害で何ヶ月も水を作ることができず代替え施設つくった事例があったように。そういったことも踏まえて水道ビジョンで検討して欲しい。

・委員

四国中央市の水道料金は、他市（全国）と比べてどれぐらい？

・事務局

平成29年度料金（10m³使用量）、全国：1,540円、愛媛県：1,458円、四国中央市（三島・川之江地区）：1,460円。

議事3 諮問事項

四国中央市水道事業ビジョンについて

○事務局より説明

○質疑

・委員

平成22年策定水道ビジョンで、510億円経費がかかると示されています。老朽化更新などによる工事費を次世代に先送りすることになるのでは？

・事務局

水道事業工事の財源は、起債に頼っている部分が多い。起債は借りた後30年かけて返していくので、先送りする仕組みではないとも考えられる。

・委員

財政健全化に向ってどれだけ料金収入が細る中でも対応、しないといけない設備投資はやっている。そうやって観点で、未来を見つめ、将来強靱で安全、持続可能な水道事業として成立つ組織作りをすすめる為の水道ビジョン策定にあたって欲しい。

・委員

未納者の対応は？

・事務局

料金の収納率は、98～99%で全国的にも高いほうです。滞納専門に回収する人を雇い収納率を上げています。

・委員

資料にある、平均値と中央値は？

・事務局

平均値は全事業の数値を足し算し類似事業体の数（今回は15事業体）で割った数値です。この場合極端に割合の高い数値があると、平均値はその数値に

ひっぱられるので、順番に並べた場合の真ん中の都市がどこにあるかを表示す為に中央値を載せております。

- ・委員

職員アンケート内の心配に、人材育成が心配・職員数の減少とあるが、技術・ノウハウの喪失等の対策が十分出来ないと、給水自体がままならないとなりかねないので、新しいビジョンにはその辺りもきちんと取り入れて欲しい。

- ・事務局

人材育成や、職員数減少について、十分配慮したビジョンにしていきたい。

- ・委員

川滝小学校等で出されるお茶がカルキ臭く飲めない。何が原因か？

- ・事務局

最終末端地域で塩素が何 PPM ないといけない指標があり、市内各所の蛇口から水を取り水質検査している。中田井浄水場で塩素を注入しておりますが、川滝地域は市内の末端近くになり、追加塩素を行っている。そこで、若干外の地域よりカルキ臭がするのではないかと考えられる。これについては、飲料水の水質基準を満たすよう調整しているもので、カルキ臭についてもご理解いただきたい。

- ・委員

水が濁った事がある。それは自然現象である程度仕方ない？

- ・事務局

多少仕方ない事ですが、ご連絡いただければ即対応します。

- ・委員

配水管の定期交換は？長年使用していると水垢が心配。

- ・事務局

配水本管等は法定対応年数があり、定期的な交換が望ましいが、経費・更新の問題もあり計画的に更新できてない箇所もある。

水道管の赤みについては、長年使用していると赤みが付着するが、通常では剥がれる事はない。でも、水道管の破裂水压に変動があると、剥がれて流れる場合がある。その時は、水道局に連絡いただけたら即対応します。

7. その他

- ・特になし

閉会